

第3回 光明台中学校区 学校適正配置意見交換会



日時：令和8年6月6日（土）

場所：光明台自治会館

本日の次第

1. 前回までの内容について
2. なぜ施設一体型義務教育学校か
3. 意見交換

1. 前回までの内容について

光明台中学校区における児童生徒数の状況について

	H22	H27	R2	R7	R12(推計)
光明台北小	766人	734人	590人	350人	304人
光明台南小	553人	556人	420人	247人	191人
光明台中	511人	610人	576人	477人	274人
合計	1,830人	1,900人	1,586人	1,074人	769人

- H27年をピークに、年々減少傾向（光明台北小はH27年以前から減少傾向）
- 年を追うごとに減少幅が拡大し、今後もさらに減少していく見込み

R12の児童生徒数・学級数の推計

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
光明台北小	35 (1)	54 (2)	43 (2)	57 (2)	75 (3)	40 (2)				304 (12)
光明台南小	28 (1)	32 (1)	32 (1)	29 (1)	42 (2)	28 (1)				191 (7)
光明台中							89 (3)	83 (3)	102 (3)	274 (9)
統合した 場合	63 (2)	86 (3)	75 (3)	86 (3)	117 (4)	68 (2)	89 (3)	83 (3)	102 (3)	769 (26)

- 中学校区全体の児童生徒数は769人となり、適正配置の検討基準945人を下回る
- 特に光明台南小においては、6学年中5学年が1クラスだけの単学級となる

各施設の状況

学校名	沿革	敷地面積	延床面積	築年数
光明台北小	昭和60年開校	22,006m ²	6,364m ²	40年
光明台南小	昭和53年開校	22,063m ²	5,543m ²	47年
光明台中	昭和53年開校	27,001m ²	7,311m ²	47年

- いずれの学校も、築40年以上の建物となっており、老朽化している状況
- 一般的にコンクリートの耐用年数は60年となっており、施設一体型義務教育学校の導入による新校舎の建設がなければ、大規模改修による長寿命化(約20年延長)が必要な時期



今後における児童生徒数、学級数の推移と学校校舎の築年数の状況を考えると、このタイミングで光明台中学校区における施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の導入について、地域の方と意見交換を行うことは有意義であると判断。

校舎の整備について

施設一体型義務教育学校を導入する場合は、子どもたちが安全・安心で快適に過ごせる高機能な学校を新設します。

【学校周辺の拡大マップ】



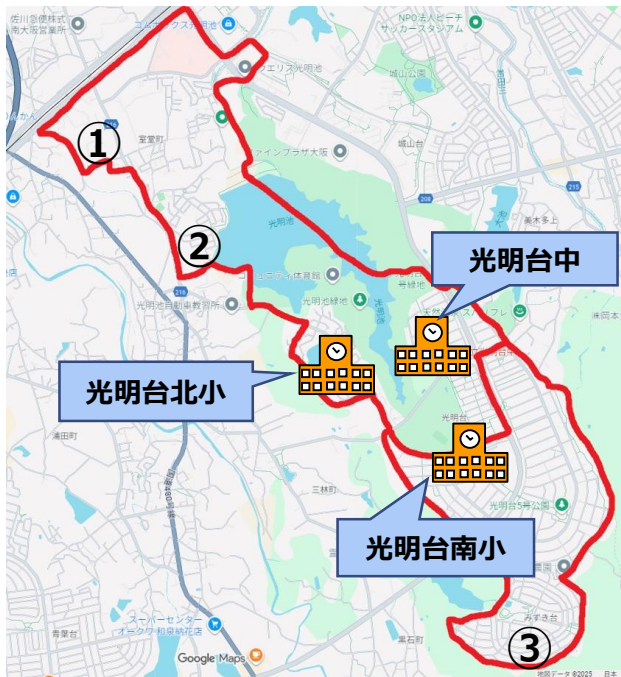
光明池緑地運動場並びにUR団地敷地での整備も検討しましたが、活用できないことが確認できたことから、3校のいずれかでの現地建替えを検討します。

	敷地の状況
光明台北小	道路面からフラットで工事しやすい 敷地面積が小さい
光明台南小	整形地 敷地面積が小さい
光明台中	敷地面積が最も大きい 緑地運動場を活用しやすい 2小に比べると不整形で高低差あり

敷地面積や立地条件からは、光明台中学校が相応しいと考えるが、工事可能か要検討

通学対策について

- ・統廃合で通学距離が遠くなり、2 k mを超える場合、児童の通学の安全対策としてバス通学の対応を検討
- ・バスの通学については、公共交通維持の観点から以下の対応を基本とする
 - ①路線バス利用（通学定期代補助）
 - ②スクールバスの導入（①ができない場合）



【各地域から3校までの距離と徒歩時間】

		光明台北小まで		光明台南小まで		光明台中学校まで	
		距離	徒歩時間	距離	徒歩時間	距離	徒歩時間
①	室堂町	2.2km	43分	3.2km	62分	3.0km	57分
②	和田町	1.4km	27分	2.4km	46分	2.2km	42分
③	みずき台	2.4km	43分	1.6km	30分	2.1km	41分

光明台中学校の敷地に新校を整備することになった場合は、室堂町や和田町、みずき台の一部が2kmを超える。

仮に光明台中学校に新校が建設された場合の通学方法

		前期課程	後期課程
①	室堂町	路線バスまたは地元通学専用バス	徒歩または自転車
②	和田町		
③	みずき台		

南松尾はつが野学園・槇尾学園の現状と課題について

和泉市の施設一体型義務教育学校の状況をQA形式で共有しました

小中で授業時間が違って混乱しない？

始業のチャイムのみ同時刻に鳴らします。
休み時間を小学生は15分、中学生は10分にして運用し、混乱はありません。

中学生の授業中、小学生の遊びは制限？

制限していません。
テスト期間中は、中学生の教室前のろう下に入らないように対応しています。

6年生に最高学年の自覚が持たせられない？

前期課程のみでのたてわり活動等により、前期課程のリーダーとして自己有用感を高める取組みも実施しています。

小学生が中学生の問題行動に影響されない？

上級生は下級生への思いやり、下級生は上級生へのあこがれをもつことができるようになることも報告されています。

運動場や体育館の利用が制限されない？

南松尾はつが野学園は時間帯を分けて使用する、槇尾学園は低学年専用のテラスを設置するなどの工夫をすることにより、制限はありません。

保健室や図書室は、小学生と中学生でニーズが違うのでは？

南松尾はつが野学園や槇尾学園では、養護教諭は2名配置で、保健室も前期・後期の2室あります。図書室は1つですが、それぞれのニーズに応じた図書を配架しています。

これまでに出了質問

Q 開校はいつ頃になる？

A.意思決定から約7～8年後となります。

Q 施設一体型義務教育学校で、小学生から中学生に上がる際に私立へ行く子もいる？

A.他校と同様、制限は設けていないため、南松尾はつが野学園においても、一定数います。

Q 施設一体型義務教育学校でも、先生は小中で分かれている？

A.後期課程の先生が前期課程の授業を担当(一部教科担任制)することも多く、職員室は1つで、一体となり教育活動を行います。

Q 学校を統合したとしても、将来は児童生徒数が減り、空き教室が発生すると思う。空き教室の活用を踏まえて設計する？

A.基本的には、開校時の児童生徒数の規模を踏まえた設計とします。しかし、将来的な児童生徒数の減少により少人数になった際には、様々な教育活動に、空き教室を柔軟かつ有効に活用します。

Q 小学校と中学校の先生で考え方や教え方の違いがあると思うが、一緒の学校にして問題ない？施設一体型義務教育学校になった場合は、教員の負担は増加しない？

A.義務教育9年間を一貫し、前期課程と後期課程の教員が指導ノウハウを共有するとともに、互いの専門性を活かし、子ども理解や授業改善に取り組むことで、質の高い教育をめざし、組織的な改善を図ります。また、市内全ての学校において、地域の実情に応じた「特色ある教育活動」を展開しており、教員の負担に差はありません。

これまでに出了意見

施設一休型義務教育学校に対する所感

次第2.で詳しく説明します

- ・小学校と中学校ではなく、小学校だけの統合でいい。
- ・施設一休型義務教育学校の導入が必要な状況であることは理解している。早い段階から導入している学校での課題を把握し、それが起きないように対策してほしい。
- ・小学生と中学生を日常的に一緒にする必要があるのか。同じ空間を使うことのメリットもあると思うが、校舎を別にするのも良いのでは。

施設関係

- ・現地建て替えならば、授業中はなるべく騒音が出ないように配慮しながら工事してほしい。
- ・施設一休型義務教育学校の設計においては、休み時間などに小中学生がともに活動する際、互いに気兼ねなく、のびのびと過ごせる環境を確保しつつ、安全も両立できるよう設計してほしい。

通学関係

- ・統廃合により、学校までの距離が2kmを超える小学生はバス利用が可能となると聞いて安心した。
- ・路線バスを維持する観点も必要で、スクールバスを導入することにも課題がある。
- ・自転車のマナーの問題もあり、低学年への見守りが必要。
- ・スクールバスは、乗り遅れがないように子どもを引率する先生の負担がある。

学校の建設場所

- ・学校の統合に伴って、避難所の数が減るのが心配。
- ・施設一休型義務教育学校にすることには賛成であるが、跡地がどう使われるのかが気になる。

2. なぜ施設一体型義教育学校か

なぜ施設一体型義務教育学校か

Q 単学級化を防ぐことが目的ならば、小学校と小学校の統合でも良いのでは？

A.

- 和泉市では平成29年度から市内全ての学校において小中一貫教育を推進しています。南松尾はつが野学園、槇尾学園では「施設一体型」、その他の学校では「施設分離型」の小中一貫教育を実施していますが、施設一体型とすることで、より一貫教育の効果が期待されます。
- 小学校同士の統合でも一定規模の確保に繋がりますが、施設一体型義務教育学校とすることで、新しい施設のもと、より多くの教員で9年間を見通した教育を実施することが可能となります。

なぜ施設一体型義務教育学校か

小中一貫教育における効果イメージ 【指導体制】

分離型		一体型になると	
内容	校区内の小中学校の連携により、中学校教員が小学校で授業を部分的に実施		
効果	「教科担任制」の授業を部分的に受けられる		
課題	学校間の移動があるため、教科が限定的になり、回数、頻度にも制限がある	課題	9年間の一貫教育において、児童生徒の人間関係が固定化しリセットの機会が失われやすい - 前期、後期、ファースト・セカンド・ファイナルといった区切りの意義を共通理解し、発達段階に応じた丁寧な指導・ケアを行う必要がある

なぜ施設一体型義務教育学校か

小中一貫教育における効果イメージ 【教育内容】

分離型		一体型になると	
内 容	小学校・中学校の教員が一貫し、系統立った教育課程を整理する	- 職員室が一つとなるため、日頃から教員間の共通理解が図りやすい環境となる - 前期・後期の教員が互いの授業や活動の様子について、移動無く確認できる - わかりやすい授業につながり、分離型よりもさらに子どもたちの理解が進む - 分離型よりも、柔軟な教育課程編制を実施しやすいため、子どもの実態に即した授業を受けられる	
効 果	9年間を系統立てた教育課程のもと、授業を受けることができる		
課 題	各小学校間、小中学校間で日頃の子どもの状況を直接確認する機会が少ないため、教員間の共通理解を図ることが困難		
		課 題	前期課程と後期課程で授業時間が違うため、混乱することの無いよう休み時間を調整するなどの工夫が必要

なぜ施設一体型義務教育学校か

小中一貫教育における効果イメージ

【学校行事】

分離型	
内容	共通のイベント等（交流給食や合同授業、中学校への体験入学など）を実施
効果	小学校間の交流、中学校区での児童生徒の交流による自己有用感の育成
課題	子どもや教員の移動の負担が大きく効率が悪い



一体型になると	
	- 同じ敷地で学校生活を送るため、イベント企画にかかる準備などが効率的かつ丁寧に行える - 上級生による前期課程児童への「読み聞かせ」や「交流給食」など、異学年交流が増える - 分離型の効果に加え、低学年は高学年への憧れを持ち、高学年は低学年を見守る意識が高まる
課題	発達段階に応じたイベント企画（どの学年で区切るか等の工夫）が必要

なぜ施設一体型義務教育学校か

多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて**一人一人の資質や能力を伸ばしていく**という学校の特質を踏まえると、小・中学校では**一定の集団規模が確保されていること**が望ましい。

施設一体型義務教育学校の校舎や設備について

【榎尾学園】



- ・各教室にはホワイトボードを設置
- ・プロジェクターと連携し、パソコンやタブレット画面の投影も可能



メディアセンター

- ・学校を中心スペースにオープンな形で配置
- ・様々な異学年交流の場を創出



多目的室

- ・地域開放室として、様々な目的に応じて利用可能
- ・圧迫を感じないよう他の教室より天井の高さを確保

施設一体型義務教育学校の校舎や設備について

【(仮称)富秋学園】

校舎イメージ



交流ラウンジイメージ



- ・2階と3階の中央に配置
- ・オープンな空間で人と人をつなぐ交流の場に
- ・広い空間での学習や発表も可能

壁面ホワイトボード
(参考：東京都 宝仙学園小学校)



- ・各教室に壁面ホワイトボードとワイドプロジェクターを設置
- ・壁ほぼ一面をホワイトボードとし、ワイドプロジェクターと連携
最大130インチ(縦約115cm、横約309cm)の投影が可能

施設一体型義務教育学校の跡地活用状況について

○基本的な考え方

公共施設マネジメントの観点から新たな公共施設の整備は行わず、未利用の土地や施設を長期間放置することのないよう、民間への貸付や売却も含めた効果的・効率的な運用を行う(「和泉市公共施設等総合管理計画」)

	統合学校	跡地活用の状況
南松尾はつが野学園 (平成29年開校)	南松尾小学校 南松尾中学校	(市街化調整区域) ・南松尾小・・・南松尾老人集会所、文化財収納庫に転用(※1) ・南松尾中・・・校舎を除却し、借地契約を解消
槇尾学園 (令和7年開校)	横山小学校 南横山小学校 槇尾中学校	(市街化調整区域) ・横山小・・・・地域活性化に向けた民間施設での利活用を検討 ・南横山小・・・児童生徒の教育施設として活用(学校林、川遊び)(※2)
(仮称)富秋学園 (令和9年開校予定)	幸小学校 池上小学校 富秋中学校	(市街化区域) ・幸小・・・・・・複合商業施設を誘致予定(※3) ・池上小・・・・一部を町会館用地として売却した上で、住宅用地として活用予定(※3)

(※1)当時、老人集会所が急勾配の場所にあり利用できない状態だったこと、文化財を収蔵する場所が必要だったことから活用

(※2)当該地域が急傾斜地、市街化調整区域であり民間への売却が見込めなかったことから、自然環境を教育に活用

(※3)富秋中学校区等まちづくりにおいて整理

次回の意見交換会で、跡地活用について説明します

3. 意見交換

意見交換のテーマ

◆ 前回までの内容を振り返って

- ・ 施設一体型義務教育学校に対する所感や疑問
- ・ 新校の建設場所についての意見、質問
- ・ その他のことに関する質問